

(大正五年四月六日第三種郵便物認可)昭和五年十月廿五日印刷納本(毎月一回一日發行)

哲 學 研 究

第 十 一 冊 第 五 十 卷

第 七 百 六 十 號

昭 和 五 年 十 一 月 一 日 發 行

義務闘争の問題(上)……………文學士 田 中 熙

機能概念の美學への寄與……………文學士 中 井 正 一

現代文化の争闘(ジムメル)(上)……………文學士 伊 達 四 郎

彙報其他……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內
京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一、毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員(會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員長	文學士	天野真祐
	文學士	岩井勝二郎
	文學博士	植田壽藏
	文學博士	小西重直
	文學士	小島祐馬
	文學博士	田邊元
	文學士	高橋俊乘
	文學博士	朝永三十郎
	文學士	中井正一
	文學博士	野上俊夫
	文學士	羽溪了諦
	文學博士	波多野精一
	文學博士	藤井健治郎
	文學士	和辻哲郎

來る十一月二十九日土曜午後一時半より京都帝國大學文學部第四教室に於て左の公開講演を行ふ。

一 形而上學的時問

京都帝國大學文學部講師
文 學 士

九 鬼 周 造 氏

一 法華經に於ける淨土の問題

京都帝國大學文學部講師
文 學 士

本 田 義 英 氏

右講演終了後、教官食堂に於て晚餐會(會費貳圓)を催し度候につき萬障御繰合せ御參會なし下され度右御案内申上候。

京 都 哲 學 會

前 號 目 次

ナトルプに於ける「主観性」に就いて……………文學士 故錦 田 義 富

世界觀の問題(承前)……………文學士 高 山 岩 男

彙報 其他……………

告 會

一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版印刷株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪三〇六三番、内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介、新刊書、寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候
 京都帝國大學 文學部内 京都哲學會

定 規 文 註

◎ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版印刷株式會社へ御申込下され度候
 ◎ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
 ◎ 振替貯金にて御送金(振替大阪三三九五番三九三一番東京三九三一番)内外出版印刷株式會社宛に願上候前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章押捺致すべきに付直に御拂込下され度候
 ◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

價 定

冊	數	定	價	一	郵	稅
一	冊	金	四拾錢	金	壹	錢
六	冊(前金)	金	貳圓四拾錢	不	申	受
十二	冊(前金)	金	四圓八拾錢	不	申	受

廣告料 一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

昭和五年十月廿五日印刷納本
 昭和五年十一月一日發行 第一百七十六號 第十五卷 第十一册

京都帝國大學文學部内

編輯者 京都哲學會

右代表者 高橋俊乘

發行者 須磨勘兵衛

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 内外出版印刷株式會社印刷部
京都市西洞院七條南入

發行所

京都市下京區西洞院七條南
 内外出版印刷株式會社

振替口座 大阪三三九五番
 東京三九三一番

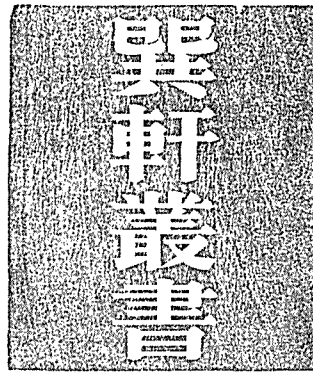
本社 京都市下京區西洞院通七條南入
 販賣所 京都市日本橋區本銀町三ノ十四
 (東京) 内外出版印刷株式會社

賣捌所

(大阪) 寶文館 北隆館 寶文館 東文堂 東海堂
 (神戸) 寶文館 盛文館 上田屋 參文社
 (京都) 共盛社 大瀨書店 大盛社

不許複製
 禁轉載

改正定價のお知らせ



吉田 靜 致著 人格の生活

改正定價 二圓五十錢

(舊定價 二八〇)

著者の持論たる(同圓異中心主義)を解説し、人格の本質を説述し、人生一切の問題を解決し、人格の生活を高調したる倫理問題及思想問題研究の好參考である。

井上哲次郎著

日本陽明學派之哲學

改正定價 四圓

(舊定價 四・五〇)

日本朱子學派之哲學

改正定價 四圓五十錢

(舊定價 五〇〇)

日本古學派之哲學

改正定價 四圓三十錢

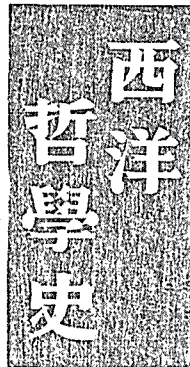
(舊定價 四八〇)

資料の豊富なる、識見の卓越せる、編次の整然たる日本儒教史の研究検討に缺くべからざる名著、斯學の耆宿井上博士が蘊蓄を傾倒せるもの。日本に發達せる東洋道德の精華を盡し、國民道德の由來背景を明らかにせるもの、斯學研究者にとつて洵に得易からざる資料である。

吉田熊次著 國體と倫理

改正定價 三圓三十錢

(舊定價 三八〇)



ロジャース原著
北玲 吉譯

改正定價 四圓

(舊定價 五〇〇)

原著は哲學史の要領を最もよく盡したるものとして歐米各大學の教科書に採用されるもの、北氏の麗筆これを全譯して得て遺憾がない。哲學の堂奥に入らんとする者の必讀すべき第一書としてこれを江湖に薦める。

東京九段坂下
振替東京五〇一番

富山房

(大正五年四月六日)昭和五年十月廿五日印刷納本(毎月一回)
第三種郵便物認可 昭和五年十一月一日發 行(一日發行)

哲學研究 第七十六號 定價金四拾錢

郵税金壹錢